

# INFORMATION(海外情報)

※情報配信元:株式会社Food・Safety <http://www7b.biglobe.ne.jp/~food-safty/>

【注意】 報道された食品に関わる記事の一部(原文のまま)をご紹介します。詳しくはリンク先のページよりご確認ください。

なお、情報提供ページは提供者側により短期間で削除される場合もあります。予めご了承ください。

日付	名称	内容	国地域	情報元URL
2021/12/24	米食品医薬品局がコロナ経口治療薬の緊急使用許可を承認 初の自宅療法に	<p>米食品医薬品局（FDA）は22日、米ファイザーの新型コロナウイルス経口治療薬「パクスロビド」の緊急使用を承認したと発表した。自宅で服用可能な新型コロナの飲み薬が米国で承認されたのは初めてで、急拡大するオミクロン株の新たな対策として期待されている。FDAによると、軽・中度の症状のある成人および12歳以上の患者（体重40キロ以上）で、重症化リスクのある人が対象となる。FDAの幹部は声明で「新たな変異株が出現するなど、パンデミック（世界的大流行）の重要な時期において、今回の承認は新型コロナと戦うための新たなツールを提供し、重症化リスクの高い患者に抗ウイルス治療を受けやすくする」と述べた。</p> <p>ファイザーの臨床試験データによると、パクスロビドは重症化リスクのある患者の入院や死亡の予防で約90%有効。さらに、直近の研究データはオミクロン株に対しても効果がある可能性を示しているという。ファイザーは米国内で即時出荷を開始する用意があるとし、2022年の製造見通しを治療8000万回分から1億2000万回分に引き上げた。ホワイトハウスのコロナ対策調整官を務めるジェフ・ザイエンツ氏は、米政府は1月までに治療26万5000回分を調達する予定で、その後数カ月にわたり供給が増える見通しだと述べた。米政府は、発注済みの1000万回分を6カ月以内に確保すると見込んでいる。</p> <p>ジョンズ・ホプキンス健康安全保障センターのアメシュ・アダルジャ上級研究員は、「パクスロビドの使用承認は大きな節目で、新型コロナを現在よりもはるかに処置可能な感染症にするためにまた一步前進する」と指摘。ただ、当面は供給が少ないと見込まれるほか、最適な使用のためには診断をすぐに受ける必要があることが問題だとした。ファイザーはこれまで、年内に治療18万回分を出荷する用意があるとしている。米政府の治療1000万回分の供給契約では治療当たり価格は530ドル。FDAによると、パクスロビドは処方箋があれば入手できる。服用は症状が出現してから5日以内かつコロナと診断されてから可能な限り早期に開始する必要があるとした。12時間おきに5日間の服用となる。ファイザーは、2022年にFDAの正式承認を申請する考えを明らかにした。</p>	米国	<a href="https://news.livedoor.com/topics/detail/21399789/">https://news.livedoor.com/topics/detail/21399789/</a>
2021/12/23	冬至の外食売上高3.8億ドル、コロナ前水準 - NNA ASIA・香港・サービス NNA ASIA	<p>飲食業界団体、香港餐飲聯業協会（HKFORT）の黄家和（サイモン・ウォン）会長によると、冬至に当たる21日の外食売上高は3億8,000万HKドル（約55億6,000万円）だった。先週末の売り上げを合わせると16億HKドルに上り、新型コロナウイルス流行前と同水準だったという。22日付…</p> <p>関連国・地域： 香港</p> <p>関連業種： 食品・飲料／サービス／マクロ・統計・その他経済…その他</p>	香港	<a href="https://www.nna.jp/news/show/2279488">https://www.nna.jp/news/show/2279488</a>

## INFORMATION(海外情報)

※情報配信元:株式会社Food・Safety <http://www7b.biglobe.ne.jp/~food-safty/>

【注意】 報道された食品に関わる記事の一部(原文のまま)をご紹介します。詳しくはリンク先のページよりご確認ください。

なお、情報提供ページは提供者側により短期間で削除される場合もあります。予めご了承ください。

日付	名称	内容	国地域	情報元URL
2021/12/23	デジタル活用の2021年中国国際名酒博覧会が開幕 秋田魁新報社	<p>2021年中国国際名酒博覧会（China International Famous Alcoholic Drinks Exposition）が12月17日、中国南西部の四川省宜賓市で開催された。「強い蒸留酒の中心地宜賓は、その芳香で世界を魅了する」をテーマに、中国酒類協会（China Alcoholic Drinks Association）が主催し、宜賓市人民政府と五糧液集団（Wuliangye Group）が共催した。博覧会は国際的な拡大、管理、ブランド戦略、生産の観点から最新の技術と手法を採用することにより、中国国際名酒博覧会を現在と未来に向けて共同で構築しつつ、デジタル能力の全面的活用、国際的業界の技術とデジタル化の利用促進を目的として、オンライン/オフラインの結合モデルを展開した。</p> <p>▽オンライン/オフライン結合モデルで将来も有効なデジタル化中国国際名酒博覧会の構築</p> <p>今年は遵義、瀘州を含む6大蒸留酒産地からの酒の出展を歓迎、主要ブランドの中から中国の名酒生産者である茅台（Moutai）と五糧液（Wuliangye）、国際的な食前酒メーカーのペルノ・リカール（Pernod Ricard）とレミーマルタン（Remy Martin）などからの展示がある。博覧会での活動は、開会式、商品展示会、五糧液の考古学的調査Archaeological Wuliangyeプロジェクトと五糧液12.18スーパーファンフェスティバルの結果を発表する記者会見など、有意義で刺激的な行事が含まれていた。12月10日から20日までは、疫病流行後の市場発展を刺激する印象的な行事の創出を目標に、JD.com（京東）、Tmall（天猫）、Taobao（淘宝网）のショッピングプラットフォーム上で12.18 Online International Famous Alcoholic Shopping Festival（オンライン国際名酒ショッピングフェスティバル）が紹介された。五糧液集団、Sichuan Liquor &amp; Tea Group、その他の有名な酒類メーカーや、宜賓の地元のワイン醸造業者、業界チェーンの関連原料生産者のすべてがフェスティバルに参加した。</p>	中国	<a href="https://www.sakigake.jp/news/article/20211222PR0044/">https://www.sakigake.jp/news/article/20211222PR0044/</a>
2021/12/22	（国税庁事業）スイス・日本産酒類輸出オンライン商談会   イベント情報 - ジェトロ	<p>国税庁（実施：ジェトロ）は、輸出を目指す酒類事業者の皆様に海外バイヤーとの商談機会を提供すべく、今後の輸出が期待されるフロンティア地域（計5か国を予定）のバイヤーとの日本産酒類輸出オンライン商談会を実施します。第1弾としてスイスのバイヤーとの商談会を実施します。皆様からのご応募をお待ちしています。なお、商談会実施国の新型コロナウイルスの感染拡大等による事業内容の変更や中止の可能性がある旨ご承知おきください。</p> <p>※国税庁事業として、今年度2月～3月にかけて他国でも商談会を実施予定です。詳細は決まり次第ご案内します。</p>	スイス	<a href="https://www.jetro.go.jp/event/s/afg/0554a97659e04be1.html">https://www.jetro.go.jp/event/s/afg/0554a97659e04be1.html</a>

# INFORMATION(海外情報)

※情報配信元:株式会社Food・Safety <http://www7b.biglobe.ne.jp/~food-safty/>

【注意】 報道された食品に関わる記事の一部(原文のまま)をご紹介します。詳しくはリンク先のページよりご確認ください。

なお、情報提供ページは提供者側により短期間で削除される場合もあります。予めご了承ください。

日付	名称	内容	国地域	情報元URL
2021/12/22	カナダでBSE発生…韓国政府、牛肉輸入検疫を中断   Joongang Ilbo   中央日報	<p>韓国政府が最近、非定型BSE（牛海綿状脳症）が発生したカナダ産牛肉に対する輸入検疫を中断すると21日、明らかにした。韓国農林畜産食品部はこの日、カナダ・アルバータ州の肥育牛農場で通称「狂牛病」と呼ばれる非定型BSEを発病する事実を確認し、カナダ産牛肉に対して輸入検疫を中断することにした。非定型BSEは汚染された飼料を通じて伝播し、過去に大きな社会的問題となった定形BSEとは違って8歳以上の高齢牛でごくたまに自然発生する病気で、他の個体には伝播しない。農食品部は検疫中断措置と同時にカナダ政府に今回のBSE発生に対する疫学関連情報を要求した。今後カナダ側から提供される情報を基に、公衆衛生上の影響を判断しながら検疫再開について決める計画だ。21日現在、韓国にはカナダ産牛肉が41トン輸入されているが、検疫中断で流通はしていない状況だ。今年のカナダ産牛肉の輸入量は1万676トン（11月までの検疫基準）で、全体牛肉輸入量の2.6%を占めている。</p> <p>これに先立ち、カナダ食品検査庁（CFIA）は16日（現地時間）、カナダ・アルバータ州のある肥育牛農場で8.5歳の雌牛に非定型BSE感染事実を確認し、20日、国際獣疫事務局（OIE）にこの事実を伝えた。カナダでBSEが発生したのは2015年定形BSEが発生して以来、約6年ぶりだ。カナダは今年5月、OIEからBSEで最も安全な国家で、リスクを無視できる国「危険無視国（negligible BSE risk country）」の地位を獲得していた。</p>	カナダ	<a href="https://japanese.joins.com/JArticle/285893">https://japanese.joins.com/JArticle/285893</a>
2021/12/22	食品の健康度をひと目で米タフツ大が新指標 - 47NEWS	<p>さまざまな食品の健康度を、栄養素などに基づいて1から100までの分かりやすい数値で評価する手法を、米タフツ大の研究チームが考案した。「フードコンパス」と名付けた新指標を使い、米国で人気がある食品や料理、飲料の健康度をランキングした。</p> <p>数値が大きいほど健康度が高く、小さくなると健康度が低い。チームは70以上を「おすすめ」、69～31は「適度に」、30以下は「控えめに」と推奨の目安を示した。最も高い100と評価されたのは果物のラズベリー。生で食べるのを勧める。ナッツのアーモンドや野菜カレーも90以上だった。ツナサラダやコーヒーもおすすめに分類された。さつまいもチップスや鶏むね肉のグリル、チキンバーガーなどは50以上。適度に食べることを推奨する。</p> <p>プリンや即席麺、チーズバーガーなどは評価が低かった。ジャンクフードはカロリーが高い一方で栄養に乏しく、肥満や生活習慣病の原因にもなる。あまり食べ過ぎない方がよさそうだ。食品の健康度の評価法は他にもあるが、限られた項目に基づくものが多い。何を食べたら体にいいのか消費者に分かりにくいのが難点だった。</p> <p>チームは、ビタミンやミネラルなどの栄養素に加え、食物繊維や炭水化物、塩分、糖分、脂質など9分類54項目を総合的に評価。最新の科学的データに基づき、体の機能を高めるプラス面と、病気のリスクとなるマイナス面の両方を考慮して単一の数字で示した。食品会社や外食産業に利用してもらうほか、新たな食品表示への反映を目指している。</p>	米国	<a href="https://www.47news.jp/news/7163372.html">https://www.47news.jp/news/7163372.html</a>

# INFORMATION(海外情報)

※情報配信元:株式会社Food・Safety <http://www7b.biglobe.ne.jp/~food-safty/>

【注意】 報道された食品に関わる記事の一部(原文のまま)をご紹介します。詳しくはリンク先のページよりご確認ください。

なお、情報提供ページは提供者側により短期間で削除される場合もあります。予めご了解ください。

日付	名称	内容	国地域	情報元URL
2021/12/21	インド、農産物の先物取引停止 食品価格高騰で（ロイター） - Yahoo!ニュース	<p>インド証券取引委員会は20日、食品価格の高騰を受け、主要農産物の先物取引を停止すると発表した。インドは植物油の世界最大の輸入国。大豆、大豆油、パーム原油、小麦、米、ひよこ豆、緑豆、菜種、カラシ先物の取引開始を1年間停止するほか、すでに取引されている限月については、新たなポジションを取ることを認めない。2003年に先物取引が認められて以来、最も劇的な措置となる。取引業者のヘッジが難しくなり、市場の信認が低下する恐れもある。</p> <p>インドでは食用油の価格が高騰し、政府が輸入関税を大幅に引き下げたが、国際市況の上昇で効果は限定的となっている。</p> <p>インド油糧協会の代表はロイターに「筋違いな措置だが、食用油の高騰を懸念する政府には同情する」とし、国際市況は今後数カ月で落ち着くとみられ、1年ではなく3-4カ月の先物取引停止でもよかったのではないかとの見方を示した。</p> <p>コンサルティング会社サンビン・グループの代表によると、食用油の輸入業者・取引業者はリスクヘッジのために国内取引所の先物を広範に利用しており、短期的に輸入が鈍化する見通しだ。</p>	インド	<a href="https://news.yahoo.co.jp/articles/24f8c2042445614e507863fcdd85c2c2850efc2c">https://news.yahoo.co.jp/articles/24f8c2042445614e507863fcdd85c2c2850efc2c</a>
2021/12/20	【シンガポール】米社の培養鶏肉新製品、食品庁が販売認可 [食品] - 47NEWS	<p>販売が認可された人工培養の鶏胸肉（イート・ジャスト提供）</p> <p>代替タンパク質を開発・製造する米新興企業イート・ジャストは、細胞培養で製造する人工鶏肉の新製品の販売認可がシンガポール食品庁から下りたと発表した。近く、中心部のホテルで試食会を行う。認可されたのは、細胞培養した鶏胸肉など。2022年には一部のホーカー（屋台）で、同製品を利用したメニューが販売される予定だ。イート・ジャストは動物の細胞から人工培養で作る食肉「クリーンミート」の開発を手掛ける。20年12月に人工鶏肉のナゲットの販売認可を食品庁から取得していた。培養鶏肉の商用販売の認可としては世界初だった。</p>	シンガポール	<a href="https://www.47news.jp/economics/nna/7190157.html">https://www.47news.jp/economics/nna/7190157.html</a>
2021/12/20	欧州スーパー6社、ブラジル産牛肉の販売中止 アマゾン森林破壊で	<p>欧州のスーパーマーケット6社は15日、アマゾンの森林破壊を理由にブラジル産牛肉の販売を中止すると発表した。販売中止を明らかにしたのはオランダのアホールド・デレーズ傘下の2社や仏カルフルの子会社など。一部のスーパーは、来年から南米産の全ての牛肉販売を中止すると表明。コーンビーフやビーフジャーキーのみ販売を中止するスーパーもある。対象となる製品の多くは、ブラジルの食肉加工メーカーJBSが生産に関与している。</p> <p>今回のボイコットのきっかけとなったのは、ブラジルの報道機関「リポーター・ブラジル」による調査。これによると、JBSは違法に伐採された森林地区から間接的に牛を調達する「牛ロンダリング」に関与していたという。JBSはロイターに対し、違法な森林破壊は一切容認していないとし、これまでに同社の基準を満たさなかった1万4000以上のサプライヤーとの取引を中止したと述べた。間接的なサプライヤーの監視は業界全体の課題だが、JBSは2025年までに対応できる体制を整える計画という。</p>	ブラジル	<a href="https://news.yahoo.co.jp/articles/11f2ba4f78a6de3f2882b5029c1e407d6d026654">https://news.yahoo.co.jp/articles/11f2ba4f78a6de3f2882b5029c1e407d6d026654</a>

## INFORMATION(海外情報)

※情報配信元:株式会社Food・Safety <http://www7b.biglobe.ne.jp/~food-safty/>

【注意】 報道された食品に関わる記事の一部(原文のまま)をご紹介します。詳しくはリンク先のページよりご確認ください。

なお、情報提供ページは提供者側により短期間で削除される場合もあります。予めご了解ください。

日付	名称	内容	国地域	情報元URL
2021/12/12	タイで昆虫成分配合食品の開発進む 国も販路開拓支援 - 日本食糧新聞電子版	<p>東南アジアのタイで、官民挙げて昆虫を原材料とした食品の開発が進んでいる。商務省は農家の収入拡大につながるとして、タイが自由貿易協定（FTA）を締結する諸外国に呼び掛けて輸出を拡大したい考え。一方、メーカー各社も売上げの向上につながる可能性があるとして、新商品の開発に力を入れる。ペットフード向けに製品化し、温室効果ガスの発生が少ない完全循環型の生産体制を構築しようという動きもある。商務省貿易交渉局は、新型コロナの感染拡大で影響を受けた国内の食品メーカーを救済する一つとして、昆虫を原材料とした食品の販路拡大を挙げる。タイや文化的に近い隣国ラオス、カンボジアなどでは、古くから昆虫そのものを食す習慣があり、その調理方法も多彩に存在する。</p> <p>日本にいるカナブンにも似たコガネムシ科の昆虫は、ラオスではサッと素揚げしてスナック菓子のように食べる。筆者も現地で食べたことがあるが、ポップコーンよりも香ばしくてクセがなく、老若男女問わずに日常のおやつとなっている。あの昆虫菓子を応用すれば、日本人も間違いなく食べられる。こうした伝統とノウハウを利用して、昆虫食文化のある中国市場やアジア一円、さらには欧米など新興市場にも販路を拡大しようというのがタイ政府の考えだ。タイは世界18ヵ国・地域とFTAを締結し、こうした国や地域への輸出には関税がかからない。すでに受け入れられやすい昆虫スナックなどの商品開発と国内販売を始めており、来年にも本格輸出したい意向だ。</p>	タイ	<a href="https://news.nissyoku.co.jp/news/kwsk20211210100854785">https://news.nissyoku.co.jp/news/kwsk20211210100854785</a>